

《論文》

中学校英語検定教科書における文学教材と 教職課程「英語文学」の授業

高橋和子

■ Abstract

In 2019, teacher training based on the Core Curriculum began in Japanese universities. English Literature is a compulsory subject within this curriculum. Some teacher training courses teach English literature in many compulsory subjects, while others teach it only in a limited range of subjects. Therefore, to contribute to the latter types of courses, this study explores the learning items of English literature in terms of the significance of using literary materials in foreign language teaching.

This paper focuses its analysis on English education in junior high school. Authorized textbooks are commonly used in junior high school English classes. This study analyzes the literary materials published in these textbooks and considers the type of learning content in university classes on English literature.

The learning items presented in this paper are as follows:

1. Genres of reading materials indicated for use in the course of study for junior high school
2. Literary materials included in junior high school English textbooks
3. Comparison of original texts and their rephrased versions
4. English literature in English- and non-English-speaking countries
5. Attaining cross-cultural understanding through literary works
6. Structures and characteristics of literary works
7. Types of questions used in English classes
8. Critical analysis of literary materials in English textbooks
9. How to select literary works and create teaching materials
10. Trial lessons and peer evaluation

■ キーワード

教職課程／コア・カリキュラム／英語文学／英語検定教科書／文学教材／文学作品

■ Keywords

teacher training courses / the Core Curriculum / English literature / authorized English

textbooks / literary materials / literary works

目次

1. 本稿の目的と用語の定義
 2. 研究の背景
 3. 中学校英語教科書における文学教材—物語教材を中心に
 4. 外国語教育に物語を活用する意義と課題
 5. 中学校英語教科書における物語教材と「英語文学」学習項目(1) —本文を中心に
 6. 中学校英語教科書における物語教材と「英語文学」学習項目(2) —問いを中心に
 7. まとめと今後の課題
- 註、謝辞、引用文献、Appendices

1. 本稿の目的と用語の定義

1.1 目的と考察対象

本稿の目的は、中学校英語検定教科書(以下、中学校英語教科書と略す)を主な分析対象として、どのような文学教材がどのように用いられているかを分析し、その結果を教職課程「英語文学」の学習内容に反映することである。

中学校英語教科書を分析する意図は、同校種の英語授業では教科書を用いる頻度が高いため、これらを教える上で必要な能力が求められるためである。本来ならば高等学校英語検定教科書を併せて分析すべきであるが、紙面が限られるため、本稿では中学校英語教科書を分析対象として、高等学校については稿を改めて論じたい。

1.2 用語の定義—文学教材、物語教材、「英語文学」と英語文学

本稿で扱う文学教材とは、英語を教育及び学習するために、文学作品を教材化したテキストを指す。この文学作品は、原典が英語で書かれたものに留まらず、原作者によって別の言語で書かれた後に適切に英訳された作品も含む。例えば、もとは日本語で書かれたが、後に英語に翻訳された文学作品を使った教材も、ここでは文学教材と呼ぶ。同様に、文学作品の一形態である物語が教材化された場合は、物語教材と称す。

また、本稿でカギカッコ付きで「英語文学」と記載する際、原則として教職課程の「英語文学」関連の授業を指す。カギカッコがない場合は、授業そのものを指さない。

2. 研究の背景

2.1 「外国語（英語）コア・カリキュラム」で示された「英語文学」の目標

2019年度から「外国語（英語）コア・カリキュラム」(以下、コア・カリキュラム)に基づいた、中・高等学校の英語教員養成が始まった。同カリキュラムは「英語科に関する専門的事項」と「英語科の指導法」から構成され、「英語文学」は前者に含まれる。以下にコア・カリキュラム「英語文学」の項で示された全体目標、及び学習内容(学習項目と各項目の到達目標)をまとめる。

表1 コア・カリキュラムにおける「英語文学」

全体目標	
英語で書かれた文学を学ぶ中で、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国・地域の文化について理解し、中学校及び高等学校における外国語科の授業に生かすことができる。	
学習内容	
◇学習項目	◇到達目標
①文学作品における英語表現	①文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。
②文学作品から見る多様な文化	②文学作品で描かれている、英語が使われている国・地域の文化について理解している。
③英語で書かれた代表的な文学	③英語で書かれた代表的な文学について理解している。

Note. 東京学芸大学 (2017, p. 115) をもとに筆者作成。

「英語科に関する専門的事項」に共通する特色は、中・高等学校の英語授業に資する能力育成を目指す点である。「英語文学」も同様に、全体目標に「中学校及び高等学校における外国語科の授業に生かすことができる」点を含めている(東京学芸大学, 2017, p. 115)。さらにコア・カリキュラムは、「英語文学」の授業で扱うべき学習内容として、3つの学習項目(「文学作品における英語表現」、「文学作品から見る多様な文化」、「英語で書かれた代表的な文学」)をあげ、各項目の到達目標を示している。同カリキュラムは、各学習項目に対して150から200文字程度の解説を付けているが、各項目をどのように扱えば中・高等学校の授業に「生かすことができる」のか、詳細な規定は示していない(東京学芸大学, 2017, p. 115)。

2.2 「英語文学」には何単位程度の授業科目が割り当てられているのか

コア・カリキュラムで示された「英語科に関する専門的事項」には、4つの事項(「英語コミュニケーション」、「英語学」、「英語文学」、「異文化理解」)が含まれ、全体として「20単位程度を想定」と記されている(東京学芸大学, 2017, p. 113)。各教職課程は、4事項の1つである「英語文学」に対して何単位程度の単位を割り当てているのだろうか。

「英語文学」の授業が行われる学部・学科は多様である。文部科学省『令和4年4月1日現在の教員免許状を取得できる大学一覧』は、「中学校教諭・高等学校教諭(一種免許状・二種免許状)」が取得可能な機関名を公表している(文部科学省, 2023)。同資料によると、外国語(英語)免許を取得可能

な学部・学科は多岐にわたり、文学を含む学部名は420、国際を含む学部名は329、教育を含む学部名は187、外国語を含む学部名は133ある。¹⁾少数派の学部名には、商学、経済や経営の文言を含む場合もある。

このような環境において、「英語文学」の授業にはどの程度の単位数が割り振られているのか。文学部・英米文学科と、教育人間科学部・教育学科をともに持つX大学の例をあげる。2022年度、同大学の英米文学科は、「英語文学」の枠組みに入る学科開設科目として、「イギリス文学史Ⅰ」・「イギリス文学史Ⅱ」・「アメリカ文学史Ⅰ」・「アメリカ文学史Ⅱ」(すべて必修、各2単位)、「イギリス文学概論Ⅰ」・「イギリス文学概論Ⅱ」・「アメリカ文学概論Ⅰ」・「アメリカ文学概論Ⅱ」(イギリスまたはアメリカ文学概論が選択必修、各2単位)が開講されており、中高の英語免許取得のためには最低12単位の「英語文学」関連科目が必修である。一方、同大学の教育学科では「英語文学」のための学科開設科目として、「英文学A」(必修、2単位)、「英文学B」・「英国文学史A」・「英国文学史B」(いずれも選択、各2単位)が開講されており、中高の英語免許取得のために最低2単位履修すればよいとされている(以上の情報はX大学(2022)を参照)。

さらに、国際コミュニケーション学部・国際コミュニケーション学科と、教育学部・教育学科を有するY大学の例をあげる。前者の学科は、2019年度以降の入学生に対して「英語文学」(2単位)のみを必修にしている。また、後者の教育学科は「英語文学」を学ぶ科目として「英米文学文化史A」・「英米文学文化史B」の計4単位を必修科目に指定している(以上の情報はY大学(2021, 2022)を参照)。

最後に、外国語学部・外国語学科と教育学部・教育学科を持つZ大学の例を見る。前者の学科は「英語文学」関連科目として、「英米文学入門Ⅰ」・「英米文学入門Ⅱ」(選択必修、各2単位)、「英米文学史Ⅰ」・「英米文学史Ⅱ」(選択必修、各2単位)、「英米文学研究Ⅰ」・「英米文学研究Ⅱ」(選択必修、各2単位)が開設されている。

また、後者の教育学科では、「英米文学入門Ⅰ」・「英米文学入門Ⅱ」(選択、各2単位)、「英語圏の文学Ⅰ」・「英語圏の文学Ⅱ」・「英語圏の文学Ⅲ」・「英語圏の文学Ⅳ」(選択必修、各2単位)を置いているが、全て1年次配当科目になっている点が特色である(以上の情報は、Z大学(2024a, 2024b)を参照)。

X、Y、Z大学の例は、所属する教職課程の設置科目に応じて「英語文学」に関する科目を多く履修して深く学ぶ場合と、限られた科目を通して英語文学について学ぶ場合があることを端的に示している。このような状況を踏まえると、コア・カリキュラムが示す「英語文学」の学習内容をさらに具体化し、限られた単位数でも中学校の英語授業に生かすことができる内容を検討する必要があるのではないか。

そこで以下の節では、中学校英語教科書において、どのような文学教材がどのように用いられているかを分析した上で、その結果を「英語文学」の学習内容に反映させることを試みたい。

3. 中学校英語教科書における文学教材—物語教材を中心に

3.1 中学校英語教科書と文学教材

学習指導要領改訂に伴って、中学校では2021年度から新しい教科書が使用されている。表2に書名、本稿で用いる略称、著作者、発行者を示す。

表2 中学校英語教科書の書名(略称)・著作者・発行者

書名 (略称)	著作者	発行者
NEW HORIZON English Course 1-3 (NH 1-3)	笠島準一、関典明、小串雅則、阿野幸一ほか	東京書籍
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1-3 (SS 1-3)	卯城祐司ほか	開隆堂
NEW CROWN English Series 1-3 (NC1-3)	根岸雅史ほか	三省堂
ONE WORLD English Course 1-3 (OW1-3)	本田敏幸、金森強ほか	教育出版
Here We Go! ENGLISH COURSE 1-3 (HWG1-3)	太田洋ほか	光村図書
BLUE SKY English Course 1-3 (BS1-3)	狩野晶子ほか	啓林館

Note. 文部科学省(2022)をもとに筆者作成。略称は筆者が追加。

上記教科書に含まれる文学教材は、巻末や単元の間に歌や詩をもとにした教材を数編載せる場合があるものの、物語教材が中心である。この状況は、『中学校学習指導要領解説外国語編』の中で、題材例として「説明文、意見文、感想文、対話文、物語など」が示されていることと関係するのではないだろうか(文部科学省, 2017, p. 58)。

3.2 中学校英語教科書と物語教材

以下の表3-5では、学年ごとに教科書名と総頁数、物語教材が掲載されている個所の名称、単元内で扱われているか否か、物語教材の配当頁数と配当時間、及び物語教材のタイトルと出典を示す。

表3 中学1年生英語教科書の中の物語教材

書名 (総頁)	○掲載箇所(単元内外, p= 配当頁, h= 配当時間) 物語教材タイトル【出典】
NH1 (174)	○ Learning Literature in English ^a (外, 2p, 1h) <i>Peter Pan</i> 【James Barrie, <i>Peter Pan</i> 】 “Gon, the Fox”【新美南吉「ごん狐」】 “Urashima Taro”【日本昔話】 “Suho’s White Horse”【大塚勇三「スーホの白い馬」(モンゴル昔話)】 “Beauty and the Beast”【Marie Leprince de Beaumont, “Beauty and the Beast”】 “The Wizard of Oz”【Lyman Frank Baum, <i>The Wonderful Wizard of Oz</i> 】 ○ Let’s Read 2 (外, 3p, 3h) “City Lights”【Charlie Chaplin, <i>City Lights</i> 】 ^b

SS1	○ Program 10 (内, 10p, 8h)
(172)	“Grandma Baba’s Warming Ideas!”【さとうわきこ「そりあそび」(「ばばあちゃんのおはなし」シリーズ)】
NC1	○ Reading for Fun (外, 4p, 2h)
(186)	“Alice and Humpty Dumpty”【Lewis Carroll, <i>Through the Looking-Glass</i> 】
OW1	○ Reading 1 (外, 4p, 6h)
(176)	“Fox and Tiger”【「虎の威を借りる狐」(中国故事)】
	○ Reading 2 (外, 3p, 5h)
	“An Old Woman and a Dog”【Anonymous】
	○ Reading 3 (外, 4p, 6h)
	“The Golden Dipper”【Leo Tolstoy, “The Big Dipper”】
	○ Further Reading (外, 5p, 5h)
	“The Letter”【Arnold Lobel, “The Letter”】
HWG1	○ Let’s Read 2 (外, 2p, 2h)
(190)	“The Lion and the Mouse”【“The Lion and the Mouse” (<i>Aesop’s Fables</i>)】
BS1	○ Let’s Read 1 (外, 2p, 2h)
(158)	“The Crow and the Pitcher”【“The Crow and the Pitcher” (<i>Aesop’s Fables</i>)】
計	中学1年生英語教科書総頁数：1,056
	上記の内、物語教材の総頁数： 39

Note. 各英語教科書をもとに筆者作成。

a 物語のあらすじや構成の理解を目指し、作品を詳細に扱っていない。

b 原作は映画だが、物語教材として扱われている。

表4 中学2年生英語教科書の中の物語教材

書名 (総頁)	○掲載箇所(単元内外, p= 配当頁, h= 配当時間) 物語教材タイトル【出典】
NH2	○ Let’s Read 2 (外, 4p, 4h)
(162)	“A Glass of Milk”【Anonymous】
	○ Appreciating Masterpiece (外, 3p, 0h)
	“I’ll Always Love You”【Hans Wilhelm, “I’ll Always Love You”】
SS2	○ Reading 1 (外, 3p, 4h)
(164)	“Gon, the Little Fox”【新美南吉「ごん狐」】
NC2	○ Lesson 1 (内, 10p, 8h)
(186)	“Peter Rabbit”【Beatrix Potter, <i>The Tale of Peter Rabbit</i> 】
	○ Reading for Fun 1 (外, 4p, 3h) “A Pot of Poison”【「附子」(狂言)】
	○ Reading for Fun 2 (外, 4p, 3h)
	“The Little Prince”【Antoine de Saint-Exupéry, “The Little Prince”】
OW2	○ Reading 2 (外, 5p, 5h)
(178)	“Stone Soup”【Marcia Brown, “Stone Soup” (フランス昔話)】
	○ Further Reading (外, 5p, 5h) “Somebody Loves You, Mr. Hatch”
	【Eileen Spinelli, “Somebody Loves You, Mr. Hatch”】
HWG2	○ Let’s Read 1 (外, 4p, 3h)
(190)	“Sukh’s White Horse”【大塚勇三「スーホの白い馬」(モンゴル昔話)】

BS2 ○ Let's Read (外, 6p, 5h) "The Zoos"【「動物園」(落語)】
(150)

計 中学2年生英語教科書総頁数 : 1,030
上記の内、物語教材の総頁数 : 48

Note. 各英語教科書をもとに筆者作成。

表5 中学3年生英語教科書の中の物語教材

書名 (総頁)	○掲載箇所(単元内外, p= 配当頁, h= 配当時間) 物語教材タイトル【出典】
NH3 (162)	○ Let's Read 1 (外, 4p, 4h) "A Mother's Lullaby"【大野允子・山中冬児「かあさんのうた」】 ○ Appreciating Masterpiece (外, 3p, 0h) "The Letter"【Arnold Lobel, "The Letter"】
SS3 (164)	○ Reading 1 (外, 6p, 5h) "Faithful Elephants"【土家由岐雄「かわいそうなぞう」】 ○ Further Reading 2 (外, 6p, 6h) "Library Lion"【Michelle Knudsen, "Library Lion"】
NC3 (178)	○ Reading for Fun 1 (外, 4p, 3h) "Zorba's Promise"【Luis Sepulveda, "Zorba's Promise"】 ○ Reading for Fun 2 (外, 4p, 3h) "A Present for You"【O. Henry, "The Gift of the Magi"】
OW3 (178)	○ Tips ③ for Reading ^a (外, 1p, 1h) "The Great Turnip"【ロシア昔話】 ○ Further Reading 1 (外, 4p, 4h) "Painting the Fence"【Mark Twain, <i>The Adventures of Tom Sawyer</i> 】
HWG3 (190)	○ Let's Read More (外, 3p, 3h) "The Adventures of Tom Sawyer"【Mark Twain, <i>The Adventures of Tom Sawyer</i> 】
BS3 (150)	○ Let's Read 1 (外, 4p, 4h) "The Last Leaf"【O' Henry, "The Last Leaf"】
計	中学3年生英語教科書総頁数 : 1,022 上記の内、物語教材の総頁数 : 39

Note. 各英語教科書をもとに筆者作成。

a 文章の流れを意識しながら読むことを目指し、作品を詳細に扱っていない。

中学校英語教科書全体に占める物語教材は、ごくわずかである。3学年計18冊の総頁数3,108に対して、物語教材は計126頁(4%程度)である。また、単元内で扱われている物語教材は2件にとどまり、大多数の物語教材が単元外の読み物教材として扱われている。中には巻末に本文のみが掲載され、配当時間がない物語教材もある。現在、中学校英語教科書は、説明文や意見文、対話文を主に掲載している。わずかな分量しか与えられていない物語教材の利点を最大限引き出す能力育成が、「英語文学」の授業では求められていると言えるだろう。²⁾

以下では、外国語教育における物語の意義を指摘した先行研究を振りかえった上で、中学校英語教科書における物語教材は、その利点を生かす状況にあるかを分析していきたい。

4. 外国語教育に物語を活用する意義と課題

4.1 物語を活用する意義

これまでに様々な研究者が、言語習得上、物語が果たす役割に注目してきた。例えば Vale & Feunteun (1995) は「物語は、子どもたちの言語の発達に重要な役割を果たし、喜びを与える源にもなる」と指摘する (p. 40)。Cameron (2001) は「[子どもたちは] 非常に早い段階から物語に触れ、物語の世界に参加し、自ら物語を作り出す能力を身に付けるようになる」と述べて、第一言語習得同様に第二言語習得においても物語は有益だと主張する (p. 55)。Wright (2008) も「物語は動機付けの役割を果たし、記憶に残り、豊かな言語体験を提供する」として物語が学習者の言語習得に果たす意義を指摘する (p. 4)。物語が形成する豊かな文脈に注目する研究も多く、例えば Ellis & Brewster (2014) は「絵本は、繰り返し起こる出来事や、記憶に残る文脈を通して言葉を伝えるため、外国語への理想的な導入になる」と主張する (p. 6; 同様の指摘は Ghosn, 2013; Pinter, 2017; Trelease, 2013 にも見られる。以上の日本語訳は筆者による)。

物語をはじめとする文学作品には、読者が解釈を加える余地が多く残されている点も指摘されてきた。時代を遡ると、Rosenblatt (1978) は読者反応批評の立場から“efferent reading”(テキストに書かれた情報をもとに客観的な解釈を引き出すための読み)と“aesthetic reading”(テキストの内容と個人の経験を照らし合わせながら主観的な解釈を行う読み)を呈示し、後者の読みは文学作品の方が実現しやすいとした (pp. 22-47)。最近の研究に目を向けると、物語が活発なやり取りを促す点から論じた Ahlquist & Lugosy (2019) は、「物語は、学習者が互いに共感を覚え、安心して英語を話したり意見を言ったりすることが出来る、親しみやすい環境を作り出す」と指摘している (p. 187、日本語訳は筆者による)。

4.2 英語授業で物語教材を用いる際の課題

4.1では、物語が外国語教育に与える意義を説く先行研究を概観した。一方、日本の英語教育では、物語教材をはじめとする文学教材の利点が理解されながらも、同教材の課題も指摘されてきた。例えば荻野 (1998) は、自らの授業実践を振り返って「文学作品を、英文法や語句を教えるための教材としてとらえ、『教え込んで』しまった」、「選んだ作品が生徒のレベルを超えていた」、「作品の内容自体がおもしろくなかった」と述べている (p. 11)。また、筆者が中・高等学校の教員を中心に意見を聞いた結果によると、文学教材の利点として「表現が豊かである」、「背景知識を増やすことが出来る」、「生徒たちの生き方に良い影響を与える」、「読む喜びを得られる」ことがあげられた一方で、欠点として授業準備の段階で「教員に負担がかかる」、文学教材の内容に対して「生徒に興味を持たせることが難しい」、「文学作品には難解な単語や表現が含まれる」、「文学作品に関連した活動を行うことは難しい」点などがあげられた。³⁾ 教職課程の「英語文学」の授業では、物語教材をはじめとする文学教材の利点を示すだけではなく、これらの課題への対応も検討する必要があるのではないだろうか。

本節では、物語が言語習得の上で果たす利点を概観した。その上で、物語教材を含めた文学教材を活用する上での課題も示した。次節では、中学校英語教科書に再び目を向けて、これらの中で物語教材がどのように扱われているのかを検討していく。その際、コア・カリキュラムで示された3つの学習項目(表1参照)とこれらに付された解説に言及しながら、物語教材の主要構成部分である本文と問いに注目したい。⁴⁾

5. 中学校英語教科書における物語教材と「英語文学」学習項目 (1) 一本文を中心に

5.1 物語教材と「文学作品における英語表現」・「英語で書かれた代表的な文学」

「英語文学」の授業において、コア・カリキュラムが扱うべき学習項目の1つにあげているのは「文学作品における英語表現」である。同項目に付された解説は、「英語で書かれた文学作品を読んで理解することを通して、読解力を向上させるとともに、多様な英語表現を学ぶこと」を推奨している(東京学芸大学, 2017, p. 115)。さらに、コア・カリキュラムは「英語で書かれた代表的な文学」を学習項目としてあげ、「英語で書かれた代表的な文学について、歴史的背景を含めて理解すること」と解説を加えている(東京学芸大学, 2017, p. 115)。

実際、中学校英語教科書はどのような「英語で書かれた文学作品」・「英語で書かれた代表的な文学」を用いているのだろうか。表3-5が示すように、英語圏でなじみ深い作品が一定数採用されている。Lewis Carroll の *Through the Looking-Glass* (NC1)、Beatrix Potter の *The Tale of Peter Rabbit* (NC2)、O. Henry の “The Gift of the Magi” (NC3) と “The Last Leaf” (BS3)、Mark Twain の *The Adventures of Tom Sawyer* (OW3; HWG3) が掲載されている。作品を詳細に扱わないとは言え、James Barrie の *Peter Pan*、Lyman Frank Baum の *The Wonderful Wizard of OZ* を扱う教科書もある(いずれも NH1)。一方、これらの作品は、学年に応じて平易に書き換えられたいわゆるリトルド (retold) 版である。

これらのリトルド版では、どの程度原文と異なる英語が用いられているのだろうか。Twain 作 *The Adventures of Tom Sawyer* を例にして検討したい。中学3年生対象の2種類の教科書が、この作品の同じ場面を採用している。この場面では、主人公トムが塀にペンキを塗る面倒な仕事を、巧みな知恵を使って友だちに請け負わせる。以下はトムと友人ベンのやり取りである。1と2は中学校教科書、3は原文である。

1. Ben said, “Hello! You are in trouble.” No answer. Tom was concentrating. Ben became curious. “You have to work today?” he asked. “What do you mean? Work?” Tom said with a surprised look. “I’m enjoying it! How often does a boy get a chance to paint a fence?” (OW3, p. 100)
2. Ben said, “Hello, you have to work, right?” Tom turned suddenly. “Oh, Ben, is it you? I didn’t see you.” “I’m going swimming,” said Ben. “Do you want to go with me? Or would

you rather work?”

Tom said, “What do you mean? Work?” “That is work,” said Ben. “It may be work and it may not be,” replied Tom. “But it is fine for Tom Sawyer. “Do you mean that you enjoy it?” “Enjoy it? Does a boy have a chance to paint a fence every day?” (HWG3, p. 135)

3. Ben said: “Hello, old chap, you got to work, hey?”

Tom wheeled suddenly and said: “Why, it’s you, Ben! I warn’t noticing.”

“Say—I’m going in a-swimming, I am. Don’t you wish you could? But of course you’d druther *work*—wouldn’t you? Course you would!”

Tom contemplated the boy a bit, and said: “What do you call work?”

“Why, ain’t *that* work?”

Tom resumed his whitewashing, and answered carelessly: “Well, maybe it is, and maybe it ain’t. All I know, is, it suits Tom Sawyer.”

“Oh come, now, you don’t mean to let on that you *like* it?”

The brush continued to move.

“Like it? Well, I don’t see why I oughtn’t to like it. Does a boy get a chance to whitewash a fence every day?” (Twain, 1884)

リトールド版(1と2)と原文(3)が示す主旨は、ほぼ同じである。上記引用場面では、トムが、ペンキ塗りは減多に経験できることではないから、「仕事」としてではなく「好き」でやっていると言い、ベンがペンキ塗りに対して興味を持ち始めている。一方、原文はリトールド版よりも詳細に場面を描写し、後者にはない表現を用いている。例えば“I warn’t noticing”(OED第2版によると“warn’t”は“wasn’t”の方言)や“you’d druther work”(OED第2版によると“druther”は“would rather”の方言が変異した表現)は、*Tom Sawyer*の舞台となっているアメリカ南部周辺地域で話される英語の多様性を反映している。原文は、方言を用いることを通して登場人物が置かれている状況や、時代背景を描き込んでいる。リトールド版だけを、教職課程「英語文学」の授業で用いるならば、作者が示そうとしたこのような背景を十分理解することは難しいだろう。

また、この場面はペンキ塗りを「仕事」と見なすか「好ましい」機会と捉えるかが軸になって展開しているが、原文ではベンの気持ちの変化が斜体(you’d druther *work*, ain’t *that* work, you *like* it?)に込められている。このような微妙な心情の変化がリトールド版では示されることがなく、単純なやり取りが繰り返されるため、ベンの心変わりを読者自らが細やかに解釈する機会が失われていると言えるだろう。

コア・カリキュラムの学習項目「文学作品における英語表現」が説明するように、教職課程の「英語文学」の授業で履修者の「読解力を向上させ」たり、「多様な英語表現」を学んだりすることを目指すのであれば、原文講読が必要であろう。原文を通して作品の背景を含めた理解が深まり、原文と教科書掲載のリトールド版の比較を通して元の語彙や表現はどのように書き換えられ、どのような効果を上げている(または上げていない)のかなどの点について検討することが可能になるからである。

5.2 物語教材と「文学作品から見る多様な文化」

さらに、コア・カリキュラム「英語文学」の学習項目には、「文学作品から見る多様な文化」が含まれる。同項目の解説は「それぞれの作品の時代的、社会的、文化的背景や、そこに描かれている人々の生活や価値観」を学び、「多様な文化への理解を深めること」と説明している（東京学芸大学, 2017, p. 115）。ここで言う「多様な文化」は、大多数の人々が英語を母語にする国々にとどまらず、より幅広い国々の文化を指していることが想定できる。

それでは、中学校英語教科書に掲載されている物語教材はどのような作品を出典としているのか。表3-5が示すように、英語圏の文学作品だけに限らず、様々な文化圏の物語が用いられている。日本昔話（NH1）や狂言（NC2）、落語（BS2）、日本語で書かれた物語や絵本の英訳版（NH1; SS1; SS2; NH3; SS3）、中国故事（OW1）、ロシアの作家が書いた作品やロシア昔話（OW1; OW3）、モンゴル昔話（HWG2）、フランスの作家が書いた作品や昔話（NC2; OW2）、チリの作家の作品（NC3）など実に多彩である。このように様々な国々の物語を掲載している背景には、『中学校学習指導要領解説外国語編』において、「『物語』は、世界各国に様々なものがあるが、選択に当たっては、生徒の発達段階や興味・関心に応じたもの、様々な考え方などが含まれているものなどを適切に取り上げることが考えられる」と示された点があるだろう（文部科学省, 2017, p. 98）。ここで記された「様々な考え方」に触れる上でも、「英語文学」の授業では、英語圏の作品に偏ることなく多様な文化を踏まえた英語作品を扱い、教職課程の段階で異なる文化への興味関心を高めることも大切であろう。

6. 中学校英語教科書における物語教材と「英語文学」学習項目（2）—問いを中心に

6.1 「文学作品における英語表現」・「文学作品から見る多様な文化」・「英語で書かれた代表的な文学」と問い

コア・カリキュラムの学習項目「文学作品における英語表現」の解説は「『読むこと』の教材」として、「文学作品を利用する可能性を考えたり、文学作品を利用した教材作成」をしたりすることを薦めている（東京学芸大学, 2017, p. 115）。また、「文学作品から見る多様な文化」の解説は、「中・高等学校における『異文化理解』の教材として文学作品を利用する可能性を考えたり、文学作品を利用した教材作成をするなど」の活動を提言している。さらに「英語で書かれた代表的な文学」の解説は、「学んだ内容をもとにディスカッションをしたりエッセイを書いたりすることで、思考や感情を共有し学び合うこと」を推奨している（東京学芸大学, 2017, p. 115）。

4.1で引用した Ahlquist & Lugossy (2019) が指摘するように、物語は学習者各自が意見を持ち、双方向的なやり取りを行う上で利点を持つ。この利点を生かす教材を作成するためには、本文の基礎的な理解にとどまらず、多彩な意見を引き出す問いが欠かせない。なぜならば先述した Rosenblatt (1978) が主張するように、物語の読み手は主観的な解釈を持ちやすいため、これらを共有する機会を持つことによって、学習者は他者の多様な解釈に触れて自分自身の考えを深める機会を持つことが出来るからである。⁵⁾

6.2 問いに関する先行研究と、物語教材の問いを分析するための型

近年、問いが持つ役割が注目されている。例えば、現行の学習指導要領が「主体的・対話的で深い学び」を重視していることを踏まえて、国語教育の見地から論じる松本(2018)は、物語教材を扱う際は「問いの質が問われる」と指摘する(p.3)。また、田中(2011)は、物語を用いた英語授業では「文字通りの意味をとらえただけでは、物語文の持つ面白さを味わわせること」は難しいと捉え(p.52)、物語を教材化した場合に問うべき例を紹介している(p.53)。具体的には、「物語文での推論発問のパターン例」をあげて、「A 行動の目的や意図を推測させる」、「B 場面や状況を推測させる」、「C 人物の心情や性格を推測させる」、「D 行動や出来事の結果を推測させる」、「E テキストにはない行動や言葉を推測させる」、「F テキスト全体の主題を推測させる」のように発問を6種類に分類している(田中, 2011, p. 53)。

さらに、教師から与える問いばかりではなく、学習者自ら問いを考える重要性が、国内外で指摘されている。例えば Berger & Foster (2020) は「問いを立てる力は、生徒たちが自分自身の問いに所有権を持つときに発揮される」という立場から(p.116)、「生徒たちは自分自身で問いを作成する方法を学ぶ機会を持つべきだ」と述べている(xv, 以上の日本語訳は筆者による)。さらに、月刊誌『英語教育』は2023年3月号で「やり取りを続ける・読みを深めるために児童生徒の『質問力』を育てよう」という特集を組んだ。同特集で弓削(2023)は、リーディング指導において生徒自ら発問を作成するまでのプロセスを紹介している(p.37)。

それでは、物語教材に対して中学校英語教科書はどのような問いを用意しているのだろうか。各教科書の問いを分析するためには、分析の枠組みが必要だろう。従来、外国語教育では、多くの種類の問いが提唱されてきた。「表示質問(display question)」や「参照質問(referential question)」、「個人的質問(personal question)」は、中でもよく知られた例と言える(白畑 et al., 2019, pp. 86-87)。Reading 研究の見地から6タイプの問いを示した Nuttall(2005)、授業実践の立場から「発問のタイプ」を提案する田中・田中(2018)など、多彩な問いの型をあげることができる。一方、これらは指導者が与える問いを念頭に置いているため、「英語文学」の履修者が自ら問いを作成したり、教壇に立った際に中学生に問いを作らせたりする場面を想定すると、使用しやすい作問の型とは言い難い。

そこで本稿は、問いを分析する際の枠組みとして、Question Answer Relationships(以下 QAR)を援用したい。QAR は、米国の小学生が読み書き能力を高めるために考えられた問いの型で、問いを2種類(“In the Book”と “In My Head”)に大別し、これらをさらに2種に細分化する。“In the Book”タイプの問いは、問いに対する答えがテキストにはっきり示されている問いを指す。この枠組みには、“Right There”(問いに対する答えが、本文の1か所から見つけられるタイプ)と、“Think & Search”(本文の複数箇所から情報を得る必要があるタイプ)が含まれる。一方、“In My Head”に当てはまる問いは、問いに対する答えがテキストにはっきり示されていない。この枠組みには、“On My Own”(問いに答えるために、自分の考えや経験を生かす必要があるタイプ)と “Author & Me”(問いに答えるために、テキストに示された作者の考えと、自分の考えや経験を関連付けて答える必要があるタイプ)が含まれる(以上は Raphael, Highfield & Au, 2006, pp. 22-23 参照)。

6.3 物語教材に対する問いの型

上記で示した QAR を枠組みにして、中学校英語教科書に掲載された物語教材の問いを学年ごとに分析すると、図 1-3 の結果になる（詳細は Appendices 参照）。QAR の枠組みで分類ができなかった場合（音声教材を聞く際の注意点を示したり、物語を踏まえて劇を演じる指示を与えたりするなど）は、その他（Others）として分類した。全体に占める割合（%）を示す際は、小数点3位以下を四捨五入した。

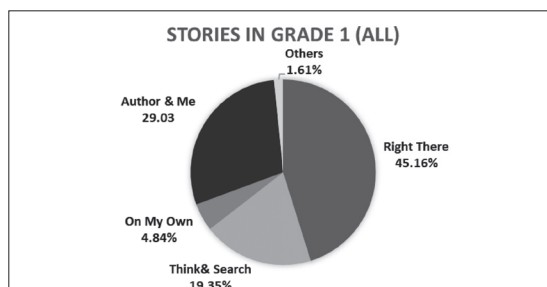


図1 中学1年生・物語教材の問いの型

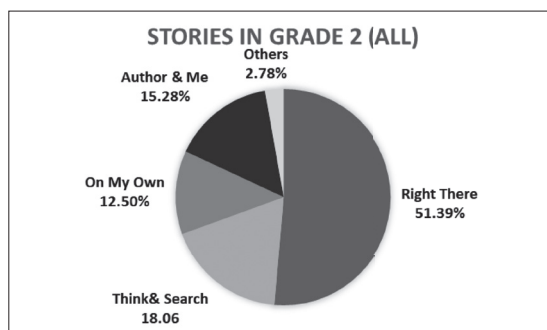


図2 中学2年生・物語教材の問いの型

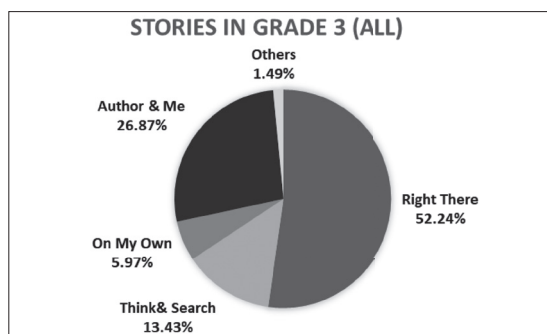


図3 中学3年生・物語教材の問いの型

教科書会社ごとに多少の差異は見られるが、図 1-3 が示すようにどの学年でも、教材に書かれたことに基づく問い（“In the Book” タイプ）が大半を占める。

このように、問いに偏りが生じているのはなぜだろうか。『中学校学習指導要領解説』は「読むこと」で扱う内容として、本文の「概要を捉える」ことをあげ、文章全体を読んで「一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれたりすることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えること」としている（文部科学省, 2017, p. 21）。「読むこと」において「大まかな内容」把握を目指す方針は、教科書本文に書かれた内容に基づく問い（“In the Book”タイプ）が、生徒自身の考えを生かす問い（“In My Head”タイプ）を上回る結果に反映されている。

一方、コア・カリキュラムの学習項目「文学作品における英語表現」や「文学作品から見る多様な文化」が求める教材作成を行う上で、教科書本文に書かれた内容を踏まえた問いだけでは、本稿第4節で示した物語が持つ利点を十分に引き出すことは難しいのではないかと。さらに、同学習項目「英語で書かれた代表的な文学」で示される学習者同士の意見や感情の共有も、「大まかな内容」に関する問いだけでは、物語教材の利点を十分に生かすことは困難であろう。

物語教材の利点を活用する上で、学習者一人ひとりが、作者の主張をどのように捉え、どのような考えを持つのかを引き出す問いが欠かせない。「英語文学」の授業では、教科書が与える問いを批判的に捉え、物語教材を用いる意義が十分に生かされるように、“In the Book”と“In My Head”タイプの問いを両方作成する練習を取り入れたらどうだろうか。

7. まとめと今後の課題

本稿は、中学校英語教科書に掲載されている物語教材を分析した上で、その結果を教職課程「英語文学」の学習内容に反映することを試みた。最後に、コア・カリキュラムで示された学習内容を踏まえて、「英語文学」の授業で扱いたい項目をまとめる。想定する授業科目は、限られた単位数を通して「英語文学」を学ぶ授業（文学系以外の学部など）、または入門的な位置づけの「英語文学」の授業（初年次対象）である。9と10は、応用的な学習項目として示したい。

1. 『中学校学習指導要領』で示された読解教材（文学教材の位置づけを含む）
2. 中学校英語教科書で用いられている文学教材
3. 文学作品の原文講読、及び原文とリトールド版の比較（物語中心）
4. 英語圏及び英語圏以外の文学作品（物語中心。主要作品・主要場面の講読など）
5. 物語を通して考える異文化
6. 物語の主な特色（物語教材の利点と課題を含む）
7. 問いの種類と立て方（“In the Book”と“In My Head”を含む）
8. 中学校英語教科書に掲載されている文学教材の批判的分析（物語教材中心）
9. 受講者自身が物語を選定、これを踏まえた教材作成
10. 9.を用いた模擬授業と相互評価

文学作品は、これを生み出した豊かな文化を背景として、時空を超えて受け継がれてきた。文学

作品の洗練されたことばを味わい、作者の思いを十分に受け止め、想像力及び創造力豊かな教員を養成する上で、「英語文学」の授業には何ができるのか。限られた授業単位数では網羅できない点、どのように扱えばよいのか。高等学校英語検定教科書における文学教材分析を含めて、今後、引き続き検討していきたい。

註

- 1) いずれも延べ数。文部科学省(2023)は、同一機関であっても別々に中・高の免許取得機関として計上している。資料には通学課程・通信課程両方を含む。
- 2) 物語教材をはじめとする文学教材は、1990年代以降、中学校英語教科書から減少して現在に至っている。その経緯は、以下の拙書で説明している(高橋, 2015, pp. 13-16及び pp. 33-38)。
- 3) 筆者は、2008年から2011年にかけて中・高等学校英語教育に携わる教員を主な対象としてワークショップを行い、物語教材をはじめとする文学教材を授業で用いる際のメリットとデメリットに関する意見共有を行った。本稿は、その際に参加者から示された文学教材の利点・欠点を踏まえている(高橋, 2015, pp. 246-252参照)。なお、高橋(2015)では、文学教材の利点と欠点を英語で記したが、本稿では新たに訳出した。
- 4) 中学校英語教科書の各単元に掲載されている読解教材には、本文と問い以外にも、教材説明、新出語彙、基本文や文法説明などが含まれる。一方、表3-5で示した通り、物語教材の多くが単元外で扱われているため、本稿では本文と問いに焦点を当てる。
- 5) 物語を読んだ後に、学習者同士が意見共有をする大切さを踏まえて開発された教材もある。例えば *Bookworms club: Stories for reading circles* シリーズ (Oxford University Press) は、ディスカッションを進める上で各学習者が担う役目(例えば Discussion Leader や Culture Collector など)を決めて、Reading Circles を作ることを推奨している。

謝辞

本稿は、科学研究費(課題番号20K00846・基盤研究(C)、研究課題名「小・中・高の英語教育に生かすための教職課程における英語文学カリキュラム開発」、研究代表者高橋和子、研究分担者伊藤祺子)による研究の一部である。また、以下2件の研究発表を大幅に加筆修正している: TAKAHASHI Kazuko, 'Stories in Junior High School English Textbooks: Analysis of Question Types,' *The JACET 61st JACET International Convention* (Online, 2022), August 25, 2022. 及び 高橋和子, 「教職科目『英語文学』で扱う学習項目を考える―検定教科書における文学教材を踏まえて」、JACET 関西文学教育研究会(オンライン)、2023年10月28日。

査読委員の先生方からたいへん貴重なご助言をいただきました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

引用文献

- Ahlquist, S., & Lugossy, R. (2019). *Stories and storyline*. Candlin & Mynard.
- Berger, W., & Foster, E. (2020). *Beautiful questions in the classroom: Transforming classrooms into cultures of curiosity and inquiry*. Corwin.
- Cameron, L. (2001). *Teaching languages to young learners*. Cambridge University Press.
- Ellis, G., & Brewster, J. (2014). *Tell it again!: The storytelling handbook for primary English language teachers* (2nd ed.). British Council. Retrieved January 24, 2024, from https://www.teachingenglish.org.uk/sites/teacheng/files/pub_D467_Storytelling_handbook_FINAL_web.pdf
- Ghosn, I. (2013). *Storybridge to second language literacy: The theory, research, and practice of teaching English with children's literature*. Information Age Publishing.
- Nuttall, C. (2005). *Teaching reading skills in a foreign language*. Macmillan.
- Pinter, A. (2017). *Teaching young language learners* (2nd ed.). Oxford University Press.
- Raphael, T. E., Highfield, K., & Au, K. H. (2006). *QAR now: Question answer relationships*. Scholastic.

- Rosenblatt, L. M. (1978). *The Reader, the text, the poem: The transactional theory of the literary work*. Southern Illinois University Press.
- Trelease, J. (2013). *The read-aloud handbook* (7th ed.). Penguin Books.
- Twain, M. (1884). *The adventures of Tom Sawyer*. American Publishing Company. Retrieved January 24, 2024, from <https://www.gutenberg.org/files/74/74-h/74-h.htm#c2>
- Vale, D., & Feunteun, A. (1995). *Teaching children English: A training course for teachers of English to children*. Cambridge University Press.
- Wright, A. (2008). *Storytelling with children* (2nd ed.). Oxford University Press.
- X 大学. (2022). 「2022 (令和4) 年度入学者用教職課程履修の手引—教育職員免許状・各種資格取得のために—2016 (平成28) 年改正法準拠」. Retrieved January 24, 2024, from [kyousyoku_tebiki_2022.pdf](https://cdn-aoyamagakuin.com/kyousyoku_tebiki_2022.pdf) (cdn-aoyamagakuin.com)
- Y 大学. (2021). 「Ⅷ 免許と資格等」. Retrieved January 24, 2024, from <https://www.musashino.ac.jp/mgu/wp/wp-content/uploads/2021/04/MGU-kyouin-2021.pdf>
- Y 大学. (2022). 「教育学科 (英語) (2022年度入学生)」. Retrieved January 24, 2024, from [2023_kyoushoku_jidou_chuukou_eigo_2022.pdf](https://www.musashino-u.ac.jp/2023_kyoushoku_jidou_chuukou_eigo_2022.pdf) (musashino-u.ac.jp)
- Z 大学. (2024a). 「科目ナンバリングについて」. Retrieved January 24, 2024, from [kyoikubunka_kaisetsukamoku.pdf](https://www.teikyoku-u.ac.jp/kyoikubunka_kaisetsukamoku.pdf) (teikyoku-u.ac.jp)
- Z 大学. (2024b). 「科目ナンバリングについて」. Retrieved January 24, 2024, from [gaikokugo_english_kaisetsukamoku.pdf](https://www.teikyoku-u.ac.jp/gaikokugo_english_kaisetsukamoku.pdf) (teikyoku-u.ac.jp)
- 荻野俊哉. (1998). 「生徒の達成感を引き出す『読破』のススメ」. 『英語教育』, 47(2), 11-13.
- 白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則. (2019). 『英語教育用語辞典』(第3版). 大修館書店.
- 高橋和子. (2015). 『日本の英語教育における文学教材の可能性』. ひつじ書房.
- 田中武夫. (2011). 「物語文では何を問うのか」. 田中武夫・島田勝正・紺渡弘幸編著, 『推論発問を取り入れた英語リーディング指導—深い読みを促す英語授業』(pp. 52-53). 三省堂.
- 田中武夫・田中知聡. (2018). 『中学校英語サポートBOOKs 主体的・対話的で深い学びを実現する! 英語授業の発問づくり』. 明治図書.
- 東京学芸大学. (2017). 「文部科学省委託事業『英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業』平成28年度報告書」. Retrieved January 24, 2024, from https://www2.u-gakugei.ac.jp/~estudy/28file/report28_all.pdf
- 松本修. (2018). 「はじめに」. 松本修・西田太郎編著, 『その問いは物語の授業をデザインする』(pp. 2-3). 学校図書.
- 文部科学省. (2017). 『中学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説外国語編』. Retrieved January 24, 2024, from https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/fieldfile/2019/03/18/1387018_010.pdf
- 文部科学省. (2022). 「中学校用教科書目録 (令和5年度使用)」. Retrieved January 24, 2024, from https://www.mext.go.jp/content/20220422-mxt_kyokasyo02-000021956_2.pdf
- 文部科学省. (2023). 「中学校教諭・高等学校教諭 (一種免許状・二種免許状)」『令和4年4月1日現在の教員免許状を取得できる大学一覧』. Retrieved January 24, 2024, from https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/daigaku/1286948.htm
- 弓削靖子. (2023). 「コミュニケーション能力育成は質問力を鍛えることから」. 『英語教育』, 71(13), 36-37. 各種中学校英語教科書も引用、表2参照。

Appendices

Appendix A: 中学1年生・物語教材の問いの型

Grade	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
Textbook, pages, Inside Unit/Chapter or Outside: Name of story	Questions & QAR Type	1:RT	2:TS	3:OMO	4: AM	5: Other											
NH, 122-123, Outside (Learning LITERATURE in English) Peter Pan, Gan, the Fox, Urashima Taro, Suho's White Horse, Beauty and the Beast, The Wizard of Oz	Task 1 物語のあらすじを聞く。①これまでにどんな物語を読んだことがあるか。□の紙から題名を選び、○に書きましよう。	3	③クック先生が、上の物語の中の1つについてあらすじを英語で紹介しています。物語を聞き、次の質問に答えましよう。①Which? クック先生はどの物語のあらすじを話していますか。	2	②Who? この物語に登場する人物や動物として、聞こえた単語②を付けましよう。	2	③この物語の主な舞台はどこですか。	2	④Who? ③の場所にもっとを住んでいたのは誰ですか。	2	⑤How? 物語の結末はどのようにになりましたか。□幸せな結末 □悲しい結末	4	Task 2 物語の文章構成を意識して聞こう。物語の文章構成を意識しながら、もう一度聞かましよう。	5	Task 3 物語を読んで並べ替えよう。Task 2のイラストを参考に、次の英文が物語の順番になるよう、○に番号を書きましよう。	2	Challenge 4 上の物語のClimaxとEndingの内容を自由に考えて、物語をおもしろくましよう。考えた案をペアやグループで発表し、どの物語がおもしろいか選ましよう。
NH, 124-126, Outside (Let's Read 2) City Lights	Review Round 1 登場人物の説明として最も適切なものをア〜エから選ましよう。	2	Round 2 本文を読んで、次の文が内容と合っているか自由にならましよう。	2	Round 3 物語の続きがどうなるか自由にならましよう。	4											
SS, 113-122 (including grammar) Inside (Program 10) Grandma Baba's Warning Ideas!	Q&A/117 ①外から家に入ってきたネコとアは何と書いていましたか。	1	Q&A/117 ②動物たちはベッドの上で何をしましたか。	1	Q&A/119 ①壊れたベッドを見て、動物たちはどう思ったでしょう。	4	Q&A/119 ②ソリになった動物たちはどう感じたでしょう。	4	Share/121 ①話の中から自分がいちばん好きな英文を1つ選んで、理由とともに友だちと伝え合ってみましよう。	4	Share/121 ②自分がばばあちゃんだったら、家がる動物たちを温めますか、友だちとアイデアを伝えましよう。	3	Q&A/121 ①動物たちは何を温めてましようか。	4	②ばばあちゃんは何を教えたかたてましようか。	4	
NC, 144-147, Outside (Reading for Fun) Alice and Humpty Dumpty	1. 物語のあらすじに合うように、当てはまる言葉を書こう。	2	2. それぞれの絵の場面を表している英文に下線を引こう。	2	1. リズムが良かったところや、内容が面白かったところはどの部分ですか。話し合おう。	4											
OW, 61-64, Outside (Reading 1) Fox and Tiger	Question/61 動物たちはなぜ逃げたのでしょうか。	4	Question/63 グマはなぜキツネにウソツキと言っているのでしょうか。	4	Question/64 トライはなぜキツネにだまされたふりをしていたのでしょうか。	2	Comprehension Check(1) 次の絵が表している場面を、それぞれの動物はどのような気持ちだったでしょう。 A [6キツネ]	4	B [p62キツネ]	4	C [p63キツネ]	4	D [p64トラ]	4	Comprehension 4 Check(2) キツネの行った行動を表す日本ことわざは何ですか。		
OW, 98-100, Outside(Reading 2) An Old Woman and a Dog	Question/98 なぜメグは年老いた女性が寂しいのだと思ったのですか。	1	Question/99 メグは年老いた女性に、犬についてどんな質問をしましたか。	2	Question/100 イヌは、メグが差し出したクッキーを食べましたか。	1	Comprehension Check 1. Why did Meg go into the coffee shop?	1	2. What did she buy there?	1	3. Does the old woman's dog like cookies?	1	4. What did the dog bite?	1			
OW, 122-125, Outside(Reading 3) The Golden Dipper	Question/122 Why did many people and animals die?	1	Question/123 How did the little dog look?	1	Question/124 How did the silver dipper change?	1	Question/125 What appeared on the small dipper?	1	Comprehension Check 1. What did the little girl bring out of her house?	1	2. What did she look for?	1	3. Did her water drink water?	1	4. Did the girl give some water to the stranger?		
OW, 126-130, Outside (Further Reading) The Letter	Question/126 Why does Toad look sad?	1	Question/127 What did Frog see out of his house?	1	Question/128 Why Is Toad 'ired'?	1	Question/129 What did Frog write in the letter?	1	Comprehension Check 1. How was Toad's mailbox every day?	1	2. What did Frog write on the envelope?	1	3. Who took Toad's letter to Toad's house?	1	4. What did Toad say about the letter from Frog?	1	5. When did the snail get to Toad's house?
HMG, 130-131, Outside(Let's Read 2) The Lion and the Mouse	Before You Read 次の4つのキーワードで、どのような物語ができると思われますか。 lion, eat mouse, help	3	Q./130 Did the lion eat the mouse?	1	After You read/131 物語の内容の順に、○内に1〜4の数字を書きましよう。	2	After You read/131 2. Think Why did the mouse help the lion?	4									
BS, 118-119, Ourasia (Let's Read 1) The Crow and the Pitcher	Q1/118 カラスはどのようにして水を飲むことができたのですか。	1	Q2/119 カラスはどのようにして水を飲むことができたのですか。	1	Think/119 この物語に、ま、どのような教訓があると思えますか。	4											

		Number of questions		%	
Question Types					
QAR	1 Right There	28		45.16%	
	2 Think & Search	12		19.35%	
	3 On My Own	3		4.84%	
	4 Author & Me	18		29.03%	
	5 Other	1		1.61%	
Total		62			

Appendix B: 中学2年生・物語教材の問いの型

Grade 2		QAR	1:RT	2:TS	3:OMO	4: AM	5: Other													
Textbook, pages, Inside Unit/Chapter or Outside: Name of story	Questions & QAR Type																			
No. 100-103, Outside (Let's Read 2) A Glass of Milk	Review Round 1/103 次のイラストを本文の内容に合う順に並べかえ。()に記号を書きましよう。	2	Round 2 1	②How did the boy feel when he left the woman's house?	③What did the woman worry about when she woke up from the operation?	④A doctor gave the woman an envelope. Who was that doctor?	Round 3 5	物語の登場人物やレーターの役割を決めて、クラスで演劇を上演ましよう。												
No. 131-133, Outside (Appreciating a Masterpiece) I'll Always Love You SS, 45-47	[No question]																			
NC, 15-14 Inside (Lesson 1) Peter Rabbit	Get Ready/12 物語を読む前に読誦しよう。(1)ピータービットについて知っていることを話そう。	2 (2)どんな物語か話しよう。	Stage 2 2	Guide 2 (1)ピーターのお母さんは、何をしていたと言いましたか。	(2)ピーターはどこへ行きましたか。	(3)グレイガーさんは、なぜピーターを追いかけたのですか。	(4)ピーターはどこに隠れましたか。	(5)ピーターはどこに隠れたか。	(6)家に帰ったピーターは、お母さんに何を言いましたか。	Gen1/13 2	(1)物語の場面を想像して、人物の感情を書こう。	(2)ピーターの気持ちの移り変わりを想像して、人物の感情を書こう。	Stage 3 3	Use Speech/14 4	物語を翻訳しよう。	3. ごんは兵十に嫉妬していますか? ペンマンは、自分勝手なことをして、ごんを苦しめていますか?	4. 兵十はごんを苦しめていますか?	5. 兵十はごんを苦しめていますか?	6. 兵十はごんを苦しめていますか?	
NC, 16-19, Outside (Reading For Fun 1) A Pot of Poison	Read and Think/69 1. 下の原文を、この話のストーリーの順に並べ替えてみよう。	2. 登場人物はそれぞれどのような性格か、どの部分からそう考えられるのか、話し合おう。	4	3. グループでこの物語を演じてみよう。																
NC, 122-125, Outside (Reading For Fun 2) The Little Prince	Read and Think/125 1. 下の文章の内容は、どのページで述べられていますか。ページ番号を書き入れよう。	2. 王子さまがたどった道についてまとめよう。(1)なぜ彼は旅に出たのか。	1 (2)彼が1つ目とした。	(3)彼が2つ目とした。	(4)彼が3つ目とした。	(5)彼が4つ目とした。	(6)王子さまが、なぜ旅に出たのか。	(7)王子さまが、なぜ旅に出たのか。	(8)王子さまが、なぜ旅に出たのか。											
OW, 90-94, Outside (Reading 2) Stone Soup	Question/90 1. What did the villagers do when the soldiers walked into the village?	Question/91 1. Did the villagers give any food to the soldiers?	Question/92 1. What kind of vegetables did the villagers bring?	Question/93 1. Why did the villagers think the soldiers knew the king?	Comprehension 2 1. Check/94 1. Why did the villagers think the soldiers knew the king?	2. Check/95 1. Why did the villagers think the soldiers knew the king?	3. Check/96 1. Why did the villagers think the soldiers knew the king?	4. Check/97 1. Why did the villagers think the soldiers knew the king?	5. Check/98 1. Why did the villagers think the soldiers knew the king?											
OW, 124-128, Outside (Further Reading) Somebody Loves You, Mr. Hatch	p. 124 1. What time did Mr. Hatch leave his house every morning?	p. 125 1. What did Mr. Hatch remember when he read the card?	p. 126 1. What did Mr. Hatch do after supper?	p. 127 1. What did Mr. Hatch say after he returned the box and the card to the postman?	Comprehension 1 1. Check/128 1. Why did Mr. Hatch say after he returned the box and the card to the postman?	(2) 1. Why did Mr. Hatch say after he returned the box and the card to the postman?	(3) 1. Why did Mr. Hatch say after he returned the box and the card to the postman?	(4) 1. Why did Mr. Hatch say after he returned the box and the card to the postman?	(5) 1. Why did Mr. Hatch say after he returned the box and the card to the postman?											
MW, 42-45, Outside (Let's Read 1) Sukh's White Horse	Before You Read/42 1. タイトルや絵を見て、内容を予測しよう。読んだことがある人は、内容を思い出してみよう。	Q/A2 1. What did Sukh take part in?	Q/A3 1. What happened when the ruler tried to ride on the horse?	After You Read/45 1. After You Read/45 1. What did Sukh do when the ruler tried to ride on the horse?	2. The ruler took the horse from Sukh.	3. The ruler took the horse from Sukh.	4. The ruler took the horse from Sukh.	5. The ruler took the horse from Sukh.	6. The ruler took the horse from Sukh.	Think/44 1. 1. Sukh's white horse was very beautiful.	2. Sukh's white horse was very beautiful.	3. Sukh's white horse was very beautiful.	4. Sukh's white horse was very beautiful.	5. Sukh's white horse was very beautiful.	6. Sukh's white horse was very beautiful.	7. Sukh's white horse was very beautiful.	8. Sukh's white horse was very beautiful.	9. Sukh's white horse was very beautiful.	10. Sukh's white horse was very beautiful.	
BS, 120-125, Outside (Let's Read) The Zoo	Q1/120 1. What does Kiraku have to do in the zoo?	Q2/121 1. Are the working conditions good for Kiraku?	Q3/122 1. What will Mr. Hasagawa bring Kiraku for lunch?	Q4/123 1. Why is the tiger weird?	Q5/124 1. What is the special event?	Q6/125 1. Who is the lion?	Think/125 3 1. Who is the lion?	2. Who is the lion?	3. Who is the lion?	4. Who is the lion?	5. Who is the lion?	6. Who is the lion?	7. Who is the lion?	8. Who is the lion?	9. Who is the lion?	10. Who is the lion?	11. Who is the lion?	12. Who is the lion?	13. Who is the lion?	

		Number of questions		%
Question Types				
Q	1 Right There		37	51.39%
A	2 Think & Search		13	18.06%
A	3 On My Own		9	12.50%
R	4 Author & Me		11	15.28%
R	5 Other		2	2.78%
	Total		72	

Appendix C: 中学3年生・物語教材の問いの型

Grade 3	QAR	1:RT	2:TS	3:OMO	4: AM	5: Other	
<p>Textbook, pages, Inside Unit/Chapter or Outside: Name of story</p> <p>Questions & QAR Type</p>							
<p>NH, 52-55, Outside (Let's Read 1), A Mother's Lullaby</p>	<p>Review/9A Round 1</p> <p>山何まといふのよりの年がかりを表す表現を見つけて...をひきましよう。ほかにか所あります。</p>	<p>2 Round 2 本文を読んで、次の質問に答えましよう。①What did the tree remember when it heard the lullaby?</p>	<p>②What happened to people when the big bomb fell?</p>	<p>③What did the young girl try to do?</p>	<p>④When the sun rose, were the girl and the little boy still alive?</p>	<p>Round 3 5 物語全体を、高揚を込めて読みましょう。グループの中で読み合わせして、良い点や工夫が必要な点を伝え合ひましょう。</p>	
<p>NH, 120-122, Outside (Appreciating a Masterpiece)</p>	[No question]						
<p>The Letter</p> <p>SS, 44-49, Outside (Reading 1) Faithful Elephants</p>	<p>1st Stage/4A 1</p> <p>山何まといふのよりの年がかりを表す表現を見つけて...をひきましよう。ほかにか所あります。</p>	<p>2 3等のゾウは何かを言っているのでしょうか。</p>	<p>2nd Stage Check/4B 1</p> <p>象園長は3頭のゾウたちの何を褒めしみにしているのでしょうか。</p>	<p>Check/4C 1</p> <p>Check/4D 1</p> <p>Check/4E 1</p> <p>Check/4F 1</p> <p>Check/4G 1</p> <p>Check/4H 1</p> <p>Check/4I 1</p> <p>Check/4J 1</p> <p>Check/4K 1</p> <p>Check/4L 1</p> <p>Check/4M 1</p> <p>Check/4N 1</p> <p>Check/4O 1</p> <p>Check/4P 1</p> <p>Check/4Q 1</p> <p>Check/4R 1</p> <p>Check/4S 1</p> <p>Check/4T 1</p> <p>Check/4U 1</p> <p>Check/4V 1</p> <p>Check/4W 1</p> <p>Check/4X 1</p> <p>Check/4Y 1</p> <p>Check/4Z 1</p>	<p>Guess/4A 1</p> <p>Guess/4B 1</p> <p>Guess/4C 1</p> <p>Guess/4D 1</p> <p>Guess/4E 1</p> <p>Guess/4F 1</p> <p>Guess/4G 1</p> <p>Guess/4H 1</p> <p>Guess/4I 1</p> <p>Guess/4J 1</p> <p>Guess/4K 1</p> <p>Guess/4L 1</p> <p>Guess/4M 1</p> <p>Guess/4N 1</p> <p>Guess/4O 1</p> <p>Guess/4P 1</p> <p>Guess/4Q 1</p> <p>Guess/4R 1</p> <p>Guess/4S 1</p> <p>Guess/4T 1</p> <p>Guess/4U 1</p> <p>Guess/4V 1</p> <p>Guess/4W 1</p> <p>Guess/4X 1</p> <p>Guess/4Y 1</p> <p>Guess/4Z 1</p>	<p>2nd Stage /46 1</p> <p>Check/4A 1</p> <p>Check/4B 1</p> <p>Check/4C 1</p> <p>Check/4D 1</p> <p>Check/4E 1</p> <p>Check/4F 1</p> <p>Check/4G 1</p> <p>Check/4H 1</p> <p>Check/4I 1</p> <p>Check/4J 1</p> <p>Check/4K 1</p> <p>Check/4L 1</p> <p>Check/4M 1</p> <p>Check/4N 1</p> <p>Check/4O 1</p> <p>Check/4P 1</p> <p>Check/4Q 1</p> <p>Check/4R 1</p> <p>Check/4S 1</p> <p>Check/4T 1</p> <p>Check/4U 1</p> <p>Check/4V 1</p> <p>Check/4W 1</p> <p>Check/4X 1</p> <p>Check/4Y 1</p> <p>Check/4Z 1</p>	<p>Guess 死んだゾウはどのようだったか。</p> <p>Check/47 トンキーは、どのようだったか。</p>
<p>SS, 113-118, Outside (Further Reading 2) Library Lion</p>	<p>Q&A/113 1</p> <p>①Why did Miss Merriweather let the lion stay in the library?</p>	<p>②Why are there no rules about lions in the library?</p>	<p>Q&A/114 1</p> <p>①Why did Miss Merriweather want the lion to do if he wanted to stay?</p>	<p>②How did the lion help people in the library?</p>	<p>Q&A/115 1</p> <p>①What happened to Miss Merriweather in the office?</p>	<p>②If you were Mr. McBee, how would you feel about the lion?</p>	
<p>NC, 64-67, Outside (Reading for Fun 1) Zorba's Promise</p>	<p>Read and Think/67 1</p> <p>1. 下に示す内容は、どのページで述べられていますか。ページ番号を書き入れよう。</p>	<p>2. ソルバの物語の内容をまとめてみよう。</p> <p>(1)お母さんかお父さんか何をお願いしましたか。</p>	<p>(2)なぜソルバは命を助けたのか。</p> <p>(3)ラッキーは命を助けたのか。</p> <p>(4)うまく飛べないラッキーは、ソルバはどんなことをかきましたか。</p>	<p>3. あなたが印を付けた部分とその理由を話そう。</p>			
<p>NC, 122-125, Outside (Reading for Fun 2) A Present for You</p>	<p>Read and Think/125 1</p> <p>1. 下の英文を、この話のストーリーの順に並べ替えよう。</p>	<p>2. 最後の場面は、デラとジムはそれぞれどのような気持ちだったかと思いませんか。</p>	<p>3. もしあなた3がデラなら、どのようにしてジムのプレゼントを贈りたいですか。</p>				
<p>OW, 30, Outside (Tip 3 for Reading) The Great Turnip</p>	<p>Let's Try! 2</p> <p>上の文章の出来事を、正しい順序にならべよう。</p>						
<p>OW, 98-101, Outside (Further Reading 1) Pointing the Fence</p>	<p>p. 98 Why did Tom get angry at Ben?</p>	<p>p. 99 Who was pretending to be the captain of the riverboat?</p>	<p>p. 100 What was Tom doing while Ben was painting?</p>	<p>Comprehension Check/101 1</p> <p>①Tom didn't have anything interesting to give to his friends.</p>	<p>(2)Tom didn't have anything interesting to give to his friends.</p>	<p>(3)Tom gave the apple to Ben.</p>	<p>(4)By the end of the afternoon the entire fence was painted by Tom.</p>
<p>NMC, 134-136, Outside (Let's Read More 3) The Adventures of Tom Sawyer</p>	<p>Q/134 Why did Tom feel he could not continue?</p>	<p>Q/135 When Ben talked to Tom, why didn't he answer?</p>	<p>Q/136 After You Read Think</p> <p>1. Tomが見た大冒険の一場面を、どんなことか書いてみよう。</p>	<p>2. あなたは、その法則は正しいかと思うか。自分の経験をもとに、友達と話し合ってみよう。</p>			
<p>BS, 96-99, Outside (Let's Read 1) The Last Leaf</p>	<p>Q1/96 What was Johnny counting?</p>	<p>Q2/97 How many ivy leaves could be seen the next day?</p>	<p>Q3/98 Did Johnny still want to die after she saw the last leaf?</p>	<p>Q4/99 Why were Mr. Barrow's clothes wet and cold?</p>	<p>I Think/99 バーマの好いをどう思いましたか。友だちと話し合ってみよう。</p>		

	Question Types	Number of questions	%
QAR	1 Right There	35	52.24%
	2 Think & Search	9	13.43%
	3 On My Own	4	5.97%
	4 Author & Me	18	26.87%
	5 Other	1	1.49%
	Total	67	